

☒ 話すこと ☐ 書くこと☒ 個に応じた教材の作成や指導の充実
☐ パフォーマンステストでの活用☒ 授業での活用
☐ 課外活動での活用☒ 家庭学習での活用実践の
ポイント

AI英語アプリを活用し、英語の発音の特徴を捉え、正しく発音する。AI英語アプリにより身に付けた力を用いて、自分の考えや気持ちを正しく伝えたり、意見を述べあったりする。

実証概要

<校数> 37校(中学校:37校) <人数> 8,100名(中学校:8,100名)
<学年> 中学校:第1、2、3学年 <アプリ等> Terra Talk (ジョイズ株式会社)

<AI機能について> シチュエーションに基づく個別スピーキング学習、英会話練習。発音、音読、会話練習、語彙、文法においてAIが生徒へフィードバックを提供。

AIの効果的な活用方法や取り組み (AI英語モデル校事業)

●授業の帯活動と家庭学習の往還を通して、即時的なやり取りや英語の発音に自信を持たせる。

- 帯活動では教師が配信した課題にトライし、主に文法事項の復習や会話の音読練習をしたり、家庭学習、生徒が個別の課題を選択しながら自主学習を行う。
- 授業において、教師やALTとのやり取りに自信を深めさせるために、英語AIアプリのチャット機能等を効果的に活用する。
- AI英語アプリによるシチュエーションに基づく会話練習を通して、目的・場面・状況を意識した会話の流れや発音を身に付けることができる。

●自分の考えや気持ちを伝えるために、学んだことを発揮する場面を設定し、意欲やコミュニケーションを高める。

【教師の役割】総合的な学習の時間の「平和学習」や「環境学習」において英語で発信したり、学校行事と英語科の学びを関連づけた等カリキュラム・マネジメントの視点で英語の授業を設計する。授業では、学んだことを英語で表現・発信するために必要な表現に関するAI英語アプリのチャット機能を効果的に活用し、スピーキング練習など個人練習の場を設定する。

【ALTの役割】発音を修正することはAIに任せるようになり、生徒とより内容を重視したコミュニケーションが可能になる。さらに、個別のニーズにも対応できるようになる。

実践成果の検証結果 (AI英語モデル校事業)

①児童生徒の英語力の変化

英会話テスト(WPM)の変化

A中学校 26→37(11単語up)

B中学校 27→35(8単語up)

英会話テスト(ルーブリック評価)

具体的な内容を話すことができた

B→Aに向上した生徒 35.5%

C→Bに向上した生徒 8.9%

○AI英語アプリによる発言機会が増えたことによって、発話量が増えたと考える。

②児童生徒の関心・意欲の変化

【設問】「英語AIを使ってどのような力を伸ばすことができましたか？」

英語の発音・・・89%

単語の意味理解・・・63%

英語を話すことへの自信・・・23%

○技能面では、英語力を伸ばすことができたが、意欲面が今後の課題である。

③教師の指導の変化

○89%の生徒がAIを活用したことで発音の力を伸ばすことができたという回答。この結果より、英語の発音修正をAIに任せることで内容を重視したコミュニケーション指導ができるようになった。

AI英語活用リーダーの育成や普及に関する取り組み (AI英語活用リーダー事業)

●研究授業を通じた活用促進

- 7月に英語研究部会を開催。約40名が参加。AI英語の具体的な活用方法について活用リーダーによる実践紹介と模擬授業。
- 11月に研究授業を開催。(緑が丘中学校)帯活動における使用場面の紹介。授業公開後は各学校の事例について共有。
- 1月に研究授業を開催。(小江原中学校)年間を通してAI英語を活用した成果発表の場とする。授業研究会では各学校における成果と課題について共有。

事業全体を通じた成果や課題、今後の取り組み (AI英語モデル校事業・AI英語活用リーダー事業)

●活用について試行錯誤した1年、より効果的な活用と英語力向上につなげる2年目へ

○生徒の英語発話量が増加し、英語の発音が改善された。○89.2%の生徒が英語AIの活用により、「英語の発音」を伸ばすことができたという回答。話すことへの自信から、英語学習への意欲向上が期待できる。○導入した規模が大きく、すべての学校が活用するまでに時間を要したが、研究授業や「Terra Talk大会」をきっかけに、活用率が向上した。○発音や単語の意味理解では、効果をあげたが「話すことへの自信」については、数値が低かったことから、表現するシチュエーションの工夫や前向きなコメントなど、表現する楽しさを持たせる支援を行う。

○AI英語アプリの活用に英語教師間や学校間で温度差があったため、すべての生徒が十分活用できなかった。今後は、研修等を含め積極的な活用を促し、活用率100%を目指す。